

会 議 の 概 要

項 目	内 容
会議名	令和 8 年度 第 1 回 宝塚市環境審議会
開催日時	令和 8 年(2026 年)7月17日(金) 10:00～12:05
開催場所	宝塚市役所本庁舎4階 大会議室
出席委員	澤木会長、遠藤副会長、今住委員、加里委員、阪上委員、 栃本委員、山口委員、明田委員、伊藤委員、川田委員 (10 名)
欠席委員	糸瀬委員 (1 名)
事務局	環境部長、環境部次長、環境エネルギー課 各担当
傍聴者数	なし
公開の可否	公開

1. 開会・挨拶

環境部長より、令和 8 年 4 月の就任挨拶とともに、以下の説明が行われた。

- 令和 7 年度末(令和 8 年 3 月)をもって再生可能エネルギー推進審議会を廃止し、今後は本審議会において再エネ・省エネを両輪として脱炭素政策を審議していく旨を説明。
- 大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻准教授の山口委員が新たに加わることを紹介。

2. 委員の委嘱

山口委員に対し、委嘱辞令が交付された。

- 任期：令和 8 年(2026 年)6 月 1 日～令和 10 年(2028 年)5 月 31 日まで
- 専門分野：建築物・住宅・業務施設のエネルギーシミュレーション、CO₂排出削減。
- 内閣府 SIP プロジェクトにて自治体の CO₂排出削減ツール開発に取り組んでおり、宝塚市をフィールドとした研究への貢献を表明。

3. 会議の成立・公開確認

- 委員定数 11 名中 10 名出席により、会議の成立を確認。
- 本審議会は原則公開。本日の傍聴希望者はなし。
- 議事録は概要版を公開し、委員氏名は記載しないこととした。

【議題 1】宝塚市脱炭素推進部会の設置について

概要

再生可能エネルギー推進審議会の廃止に伴い、再エネ・省エネを一体的に審議する「宝塚市脱炭素推進部会」を環境審議会の下部組織として設置する。

主な内容

- ・ 所掌事務：脱炭素施策の推進および進行管理（地球温暖化対策実行計画・エネルギービジョンの進捗管理など）
- ・ 組織：委員 5 名以内で構成。会長が指名。
- ・ 部会長：澤木会長（兼務）
- ・ 部会委員：山口委員、阪上委員、明田委員（計 4 名）
- ・ 審議内容は適宜、本審議会に報告のうえ、委員の意見を反映する。

規程の修正事項

- ・ 第 7 条「召集」の漢字表記について、法制部門に確認のうえ「招集」へ修正することとした。
- ・ 第 9 条「事務」の表記について、「庶務」への修正を検討することとした。

【議題 2】第 4 次宝塚市環境基本計画の策定について

パブリックコメントの結果

令和 8 年 5 月中にパブリックコメントを実施し、5 名・9 件の意見が寄せられた。

主な意見と対応

意見の内容	対応
生ごみ処理機への助成拡充、スーパーの配送網を活用したごみ出し、ごみアプリの改善など、循環型社会に関する意見	重要な意見として今後の施策の参考とする。本文の修正は行わないが、クリーンセンターと共有。回収施策の取り組み事例を加えるなど、回答表現をより前向きに修正する。
木質バイオマスボイラーの写真追加の要望	50 ページに写真を追加。ただし、市内設置のものではなく研究施設の事例であることが伝わるよう、キャプションを修正する。
計画が堅苦しく、わかりにくい	概要版より平易な小冊子の作成を検討する旨を回答に追記する。
アンケート回答数(分母)の記載を求める意見	各ページの【環境指標】に以下のとおり、追記する。 (①2015 年度欄②現状欄) 55 ページ ①[N=1,368 件]②[N=574 件] 58 ページ ①[N=1,368 件]②[N=574 件] 69 ページ ①[N=1,368 件]②[N=574 件] 73 ページ ①[N=1,259 件]②[N=574 件]

庁内精査による修正

- ・ 議会（産業建設常任委員会）の指摘を受け、概要版の巻末に用語集を追加し、本文中の該当語にアスタリスク（＊）を付記。
- ・ 交通部門の路線図・計画名等の表記誤りを修正。

審議での主な意見

- ・ 啓発のあり方について：生成 AI や漫画を活用したわかりやすい資料作成、小中学校や自治会へのチラシ配布、LINE・SNS を活用した情報発信、他自治体（横浜市等）のホームページを参考にした工夫などの意見が出された。事務局は、小冊子の作成を検討する等、各種媒体での周知を強化していく方針を示した。

今後の対応

- ・ 上記修正を加えた最終案について、会長に内容確認を一任。
- ・ 令和 8 年 8 月上旬を目途に市長へ答申する予定。

【議題 3】第 2 次生物多様性たからづか戦略の策定について

パブリックコメントの結果

令和 8 年 5 月中に実施し、3 名・15 件の意見が寄せられた。

主な意見と対応

意見の内容	対応
農林課・防災課・河川・教育など関係部署との横断的な連携強化を求める意見	環境推進調整会議を有効活用し、庁内連携を強化する。職員向けの情報共有・研修の実施も検討する旨を回答に追記する。
専門的知識を持つ人材の確保・配置を求める意見	審議会委員の専門的知見を活用するとともに、職員が自らセミナー等で専門性を高めている旨を回答に追記する。
生物多様性ポータルサイトや啓発資料のわかりやすさ向上を求める意見	環境基本計画と同様に、わかりやすい小冊子の作成を検討する旨を回答に追記する。
ミズヒマワリ（外来種）の駆除・記載に関する意見	ミズヒマワリは現時点で組織的な駆除活動を実施していない旨を回答に明記する。
アンケート回答数（分母）の記載を求める意見	84 ページの現状値に、母数を追記する。

意見の内容	対応
「海洋プラスチックゴミ」の表記に関する意見	「海洋」に限定せず、「マイクロプラスチックを含むプラスチックゴミによる生態系への影響が懸念されている」旨に表現を修正する。

庁内精査による修正

- 概要版に用語集を追加（環境基本計画と同様）。
- 数値の更新、計画名等の表記誤りを修正。

審議での主な意見

- 庁内連携については、上位職による会議だけでなく、現場職員への直接的な情報共有・研修の仕組みが重要との意見が出された。
- 実際に文化財保護区域に関する確認漏れが生じた事例が紹介され、専門知識の必要性、情報共有と庁内でのダブルチェック体制の重要性が改めて確認された。

今後の対応

- 上記修正を加えた最終案について、会長に内容確認を一任。
- 環境基本計画と合わせて、令和 8 年 8 月上旬を目途に市長へ答申する予定。
- パブリックコメントの結果および回答は、令和 8 年 7～8 月に公表予定。

閉会

以上をもって、令和 8 年度第 1 回宝塚市環境審議会を閉会した。